

(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)。

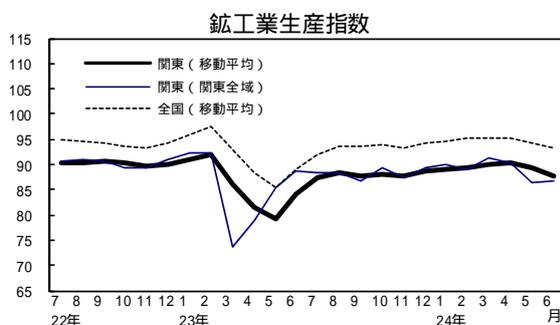
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 24 年 5 月)	今回 (平成 24 年 8 月)	
景況判断	緩やかに持ち直し	持ち直しのテンポが緩やか	
鉱工業生産	持ち直しの動き	おおむね横ばい	
住宅建設	増加	減少	
雇用情勢	厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直し	持ち直し	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。(関東全域)

輸送機械は、エコカー補助金の関係で乗用車が伸びているものの、一部、車部品で欧州債務問題の影響等による生産減がみられたこと等から減少している。一般機械は、電子部品・デバイス関連が不調で半導体製造装置が生産減となったこと等から減少している。電気機械は、発電所向けに開閉制御装置等が増えたこと等から増加している。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		1~3 月期	4~6 月期	4~6 月期	4~6 月期
輸送機械	15.2	5.7	4.7	4.2	16.6
化学	13.4	4.9			
一般機械	13.2	5.5	0.1	1.9	9.2
電気機械	7.8	6.0	0.1	0.9	4.1
食品・たばこ	7.1	3.3			
鉱工業	100.0	1.6	2.4	1.1	6.1

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

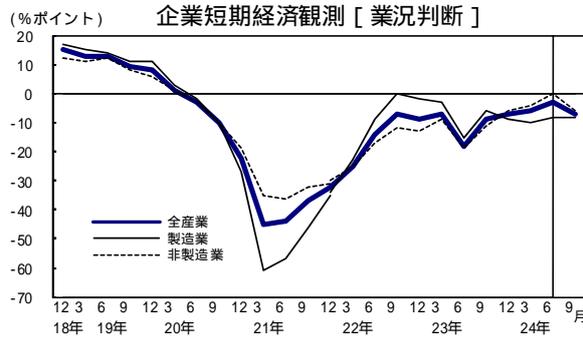
2. 4~6月期は速報値。化学、食品・たばこは、速報値では公表されていない。

(備考) 1. 17年=100、季節調整値。関東の最新月は速報値。

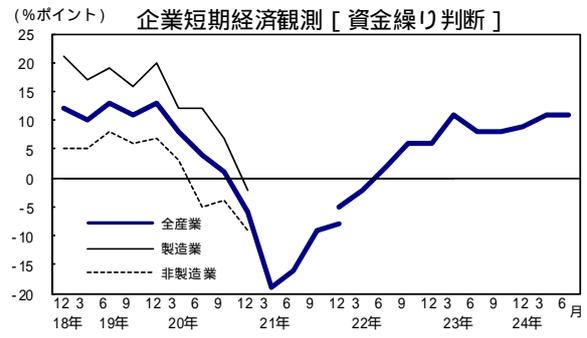
2. 全国及び関東の大線は後方3か月移動平均。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

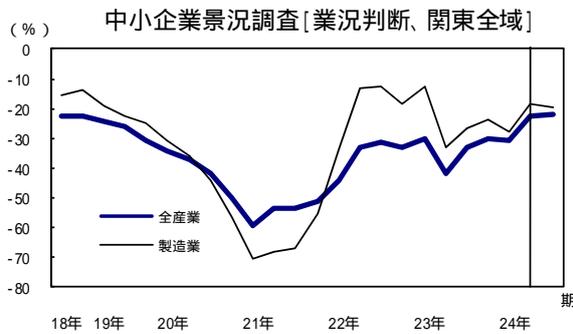
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。24年9月は予測。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。
関東全域(新潟県を含む)



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。24年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月)[企業動向関連(現状)]

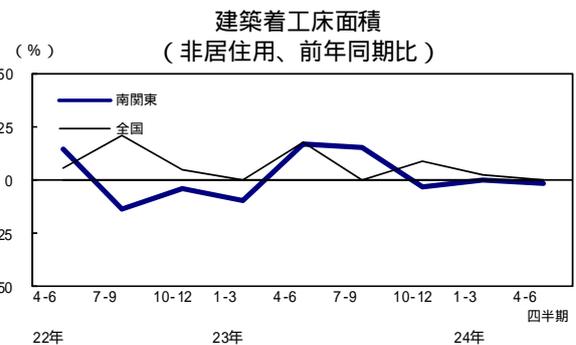
「賞与が出たにもかかわらず、消費意欲は減退気味である。衣料品の売上は前年割れしている(税理士)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 24年度の設備投資は前年度を大幅に上回る計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

	(前年度比、%)	
	23年度実績	24年度計画
全産業	4.5 (6.2)	11.1 (3.0)
製造業	11.5 (7.3)	12.2 (5.6)
非製造業	13.0 (3.8)	8.9 (2.3)

(備考) ()は前回(3月)調査比修正率。
調査対象は神奈川県。



(4) 南関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに持ち直している。

型小売店販売額

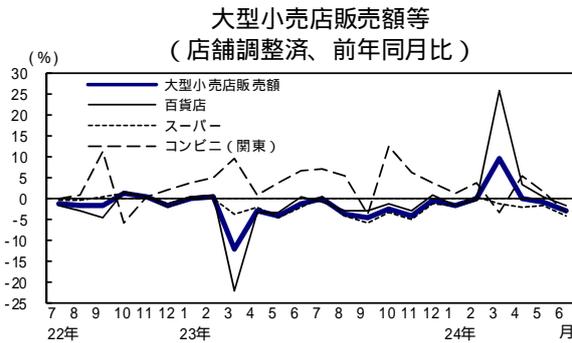
大型小売店販売額は、前年同期比で1.4%減、前期比で0.1%増となった。

百貨店は、4月は、クールビズの前倒しや桜の開花が遅れた影響で花見商戦が4月に集中したことにより前年を上回った。5月は、話題施設の相次ぐ開業で首都圏の観光地化が進んだことや、母の日ギフトが好調だったことにより前年を上回った。6月は、昨年の花火大会自粛の反動等により浴衣が好調に動いたものの、天候不順により夏物衣料の動きが鈍く、前年を下回った。

スーパーは、天候不順の影響により、夏物商品や飲食料品の不調等から前年を下回った。

景気ウォッチャー調査(7月)[家計動向関連(現状)]

「前年に比べると冷却商材が動いていない。梅雨明け後の涼しさが少し響いている。節電意識も前年ほどはなく、前年購入しているため、追加で購入する客が少ない(その他専門店[ドラッグストア])」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	23年7-9月	10-12月	24年1-3月	4-6月
大型小売店(*1)	2.8	2.3	2.4	1.4
百貨店(*1)	2.2	1.1	6.8	0.4
スーパー(*1)	3.3	3.3	0.9	2.8
大型小売店(*2)	2.3	2.1	2.8	0.9
(季節調整値)(*3)	(0.1)	(0.2)	(0.6)	(0.1)
乗用車(*4)	19.7	21.4	49.3	62.5
(季節調整値)(*4)	(23.5)	(8.5)	(22.6)	(0.8)

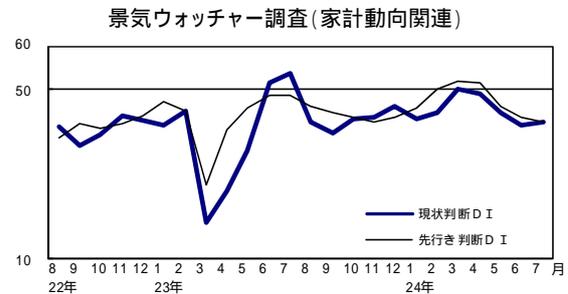
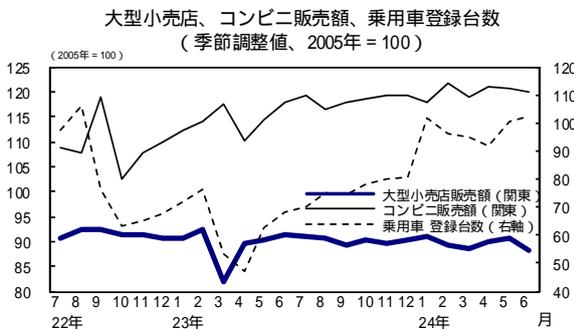
(備考)1.南関東地域、店舗調整済、前年同期比(%)、4-6月は速報値

2.南関東地域、店舗調整前、前年同期比(%)、4-6月は速報値

3.関東全域、店舗調整前、前期比(%)

4.乗用車は新規登録・届出台数

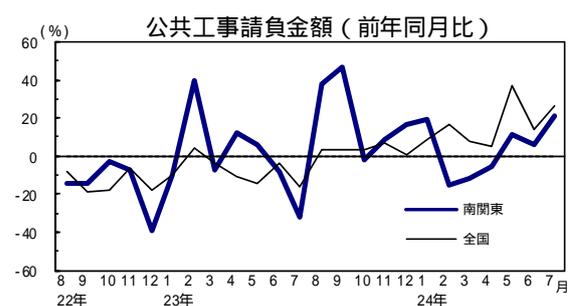
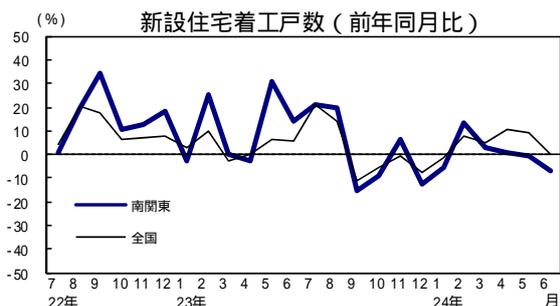
(上段：前年同期比、下段：前期比、%)



(2) 住宅建設は減少している。

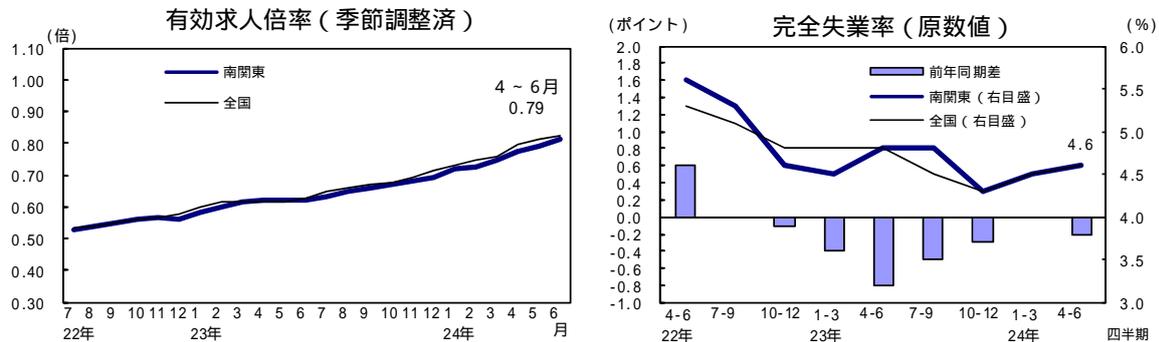
貸家が前年を上回ったものの、持家、分譲で前年を下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は24年度累計で見ると前年度を上回っている。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は持ち直している。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



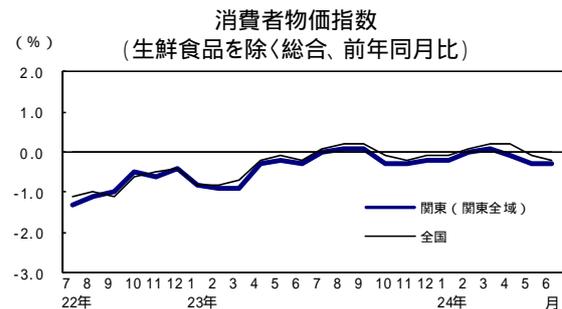
景気ウォッチャー調査（7月）[雇用関連（現状）]

「求人数は前年を上回ってはいるものの、正社員の求人は求人全体の半数に満たない。パート、アルバイト、契約社員等、非正規の求人が相変わらず多い（職業安定所）」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。
- (3) 消費者物価指数は、下落に転じている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	23年7-9月	10-12月	24年1-3月	4-6月	24年7月
倒産件数	1,023	1,027	1,095	1,068	331
(前年比)	1.4	5.5	8.5	4.2	5.2
負債総額	3,669	2,164	9,424	2,293	2,396
(前年比)	72.8	33.5	311.9	25.8	289.2



景気ウォッチャー調査（7月）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

- ・エコカー補助金の終了間際の勢いで、販売台数が増えると期待していたが、動きは芳しくない（乗用車販売店）。

<先行き>

- ・新築や改築等の話や、電気料金の値上げの情報に伴い、太陽光発電機の設置を考える企業や家庭が増えており、受注額も増えてきている（建設業）。

